

白川(しらかわ)地区 まちづくり協議会だより

皆さんお元気ですか！

- ・上白木 24世帯
- ・下白木 82世帯
- ・小川 116世帯

白川地区の世帯数(令和5年12月末現在)

新年あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今回の1月号は炭焼き事業や移動販売および子育て支援の様子等を掲載いたしました。

どうぞお楽しみください！

令和5年度炭焼き事業スタート

今年度も炭焼き事業がスタートしました。10月～来年の3月まで白川小学校および地域一丸となって活動してまいります。現在までの様子をお届けしますのでご覧ください。

1) 10/5(木) 白川小学校児童3,4年生が炭焼き授業！

本日白川小学校で2限目、3,4年生の授業で炭焼き事業の授業があり、白川地区の炭焼きの歴史(p2で紹介します)を学習しました。

浅野重信さんと川合元校長先生を講師にお招きし、

①白川地区で昔炭焼きが盛んに行われていたこと

②白川小学校で平成13年から炭焼きを始めた理由

③大市で販売し、お金の大切さを学んでいたこと

④平成19年まで使用され、その後、炭窯は放置されていたこと

⑤平成30年に炭窯を修復したこと

⑥以来、現在まで児童が「炭っ子隊」として活動し、販売していること

⑦今年から、亀山市の「ふるさと納税」返礼品の対象（現在申請中）になること

など、多くのことを学びました。

浅野さん、川合さん、有難うございました。



白川地区北コミュニティセンター 〒519-0169 三重県亀山市白木町 2813-1 TEL.0595-82-7131

本記事の内容、写真はホームページでもご覧になれます→URL:<https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/>

発行:白川地区まちづくり協議会 会長:佐野 重雄 編集:明石 浩



<白川小学校の炭焼きの歴史について・・・(参照)含む白川小学校たより「明星」等>

【初めて炭窯を作る】

2001(平成13)年総合学習の一環として、『炭焼き窯を作つて、炭を焼こう』、当時の山川誓一郎校長、川口謙次、松岡秀子、岩崎昌代先生が3、4年生を対象に地元の小川炭サークルの協力を得て進められました。

2001(平成13)年9月に炭窯が完成、以来2007(平成19)年まで続け、亀山大市などで販売されていました。

【炭焼きができるように】

(学校だより 明星第37号 平成29年12月22日(文責 川合)より)

4月に白川小に赴任してから、ヒヨウタン池と4・5年前花壇のネットが気になっていたのですが、前者は改善。後者はもう少し改善し、サル対策ができそうです。

もう一つ炭焼き窯が気になっていました。10年炭を焼かなくなつて窯の屋根が穴開いています。6年前に教頭をしていました時に穴は開いていました。

せっかく先輩方が作った窯をあの状態で置いておくのはどうかと思いました。また、子どもたちにとって、あれがなにかわからず、今に至っています。

4月に6年生が、炭を焼けたらいいなあといつたのですが、何とかならないかとまち協の会長さんに相談をしてきました。コミュニティスクール推進委員会で「やってみよに」と声をかけていただきました。かべやさんからかべをもらって、そこに融雪剤をまぜたらくっつくという話をいたしましたので、冬休みから挑戦です。煙突周りは外れているのですが、破損はひどくないので修復します。

炭焼きは、6年生の理科「ものの燃え方」の発展として、学習できるのもいいですね。私にとっては小さい夢かもしれません、学校がきれいになり、子どもたちに感動を与えることができたらと思っています。

【いよいよ炭焼き実現へ】

(学校だより 明星第47号 平成30年2月23日(文責 川合)より)

「ゆめは実現するものだ」6年生の国語の教科書で『海の命』の一文です。ずっと追っていたクエという大魚と出会うのを待っていた時が来た時の文です。

さて、炭焼きが、とうとう実現しそうです。壊れていた土壁を除去し、炭にする木も切ってきました。そして新たな土壁(ドーム)をつくる壁土の用意もできました。まち協の会長さんはじめ、地域の方々の協力でここまで来ました。そこで、炭焼き窯づくりを地域の方にしていますが、子どもたちもその作業の一部に参加させます。(後文省略)

【炭焼き窯のドーム完成】

(学校だより 明星第49号 平成30年3月16日(文責 川合)より)

「あれ、炭焼き窯の屋根がない」月曜日学校へ来た子どもたちの驚きの声でした。

3月12日(月)、朝からまちづくり協議会会長浅野重信さんをはじめ、10名の地域の方々にお世話になり、炭焼き窯づくりを始めました。指導には、野登地区から市川博重さんに来ていただきました。はじめは木をたてに詰めていきました。そしてその上に寝かせてドームの形をつくります。さらに、短い木をすきまに入れていきます。1・2年生は、その作業を



手伝いました。次にぬらしたむしろをその上にかぶせ、粘土を外側から置いて固めていきます。ある程度外側を積んだら中央へと粘土を盛っていきます。4限目に6年生が手伝ってくれました。「田んぼの土のにおいやなあ」と言って、作業をしていました。

午後は全児童が集まって、ドームを順番にたたいて固めました。当日は、朝日新聞、中日新聞、伊勢新聞が取材に来てくれました。また、市の広報からも来てくれました。

17日（土）午前中に屋根を取り付けて、19日（月）に炭焼き開始の予定です。



【炭焼き小屋屋根完成】

(学校だより 第51号 平成30年3月23日(文責 川合)より)

3月17日（土）土のドームをつくるのに屋根があると土をたたけないので、前の屋根をとりました。そして、もう一度、炭焼き小屋の屋根をつくりました。

卒業式前の19日（月）に火を入れ、窯の土を徐々に乾かす作業に入りました。

子どもたちもまきを入れました。しばらく、壁の土の上が白くなるまで乾かします。

煙突は、火力が強くならないよう、ふたをしてありますが、ふたを開けて、子どもたちに煙が出るところを見せてあげると感動していました。



2024年(令和6年)1月1日

11/9(木)炭焼き事業窯 入れ(1回目)

本日9:00より先日まで
最寄りの山林から切り出
された原木を窯に投入し
ました。

5,6年生児童、地域の方々にて対応しました。今年度1回目の窓入れです。

窯入れに先立ち、浅野重信さんおよび川合元校長先生より注意事項などのお話をありました。

ふるさと納税返礼品に登録手続きもあり、市の関係者およびNHK、伊勢新聞、ZTVの取材の方々多く来ていただきました。

ありがとうございます。

当日のお昼ごろに火入れを行いました。その日のNHKニュースでこの模様が放映されました。また、翌日の伊勢新聞にも掲載されました。また、ZTVでも放映されました。

11/11(土) 炭焼き事業
寝ずの番、一昨日の火入れし、その2日後の朝6時頃、煙の状態を確認し、窯を閉じました。火入れ後約42時間後でした。
浅野重信さんと川合元校長先生の二人で火の番をしていただきました。ありがとうございました。
約2週間後窯出しの予定です。

白川地区まちづくり協議会



しらかわまち協だより 1月号

龜山・ふるさと納税返礼品に
〔龜山〕龜山市白木町の市立小学校（平野明哉校長）の児、六年生計十二人は九日、同校運動場北側の「炭焼窯」に、原木の薪を入れを行ひ、炭焼体験をした。
（岩間匠）

白川小で炭焼き体験

11/10(金)伊勢新聞朝刊



白川地区北コミュニティセンター 〒519-0169 三重県亀山市白木町 2813-1 TEL.0595-82-7131
本記事の内容、写真はホームページでもご覧になれます⇒URL;<https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/>

発行:白川地区まちづくり協議会 会長:佐野 重雄 編集:明石 浩

11/22(水) 炭焼き事業窯出し1回目！および原木投入2回目

本日、1回目の窯出しを行いました。白川小学校5、6年生児童および地域の方々で実施されました。伊勢新聞や市の広報の方が取材に来られました。ありがとうございました。

1回目の炭を取り出した後、2回目の原木投入を行いました。そして午後2時に火入れしました。またも寝すの番です。

今年度の炭焼き事業は計4回の炭焼きを予定しており、児童による販売も含めて、来年の2月ごろまで行われます。

11/23 伊勢新聞より



炭焼き窯から炭を取り出す児童＝亀山市白木町の市立白川小学校で

【亀山】亀山市白木町の人は二十二日、同校運動場北側の「炭焼き窯」から、市立白川小学校(平野朋希)校長の五、六年生計十二人が、焼き上がった炭を取り出しだ。昔の生活を知る総合学習の一環。同校の炭焼き窯

亀山の
白川小

学校の窯で焼き上げ

児童ら「いい炭できた」

は、児童らに炭焼き体験をと平成十三年、地域住民らで窯を設置。その後、窯の一部が劣化し、数年の放置期間を経て三十年、当時の川合正男校長と地域住民らで窯を修復。以降毎年三程度、炭焼きをしていこの日は、川合元校長(左)と同校学校運営協議会の浅野重信会長(右)ら地域住民らが協力し、今月九日長さ約八十センチのカシの原木約二百五十本を窯に入れ、焼き上がった炭(約百五十キロ)を取り出した。焼いた炭は、「白川の炭」として一箱(六キロ入り一千円(税込み)で販売。市のふるさと納税の返礼品に登録する予定とい

(岩間匠)



白川地区北コミュニティセンター 〒519-0169 三重県亀山市白木町 2813-1 TEL.0595-82-7131

本記事の内容、写真はホームページでもご覧になれます→URL:<https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/>

発行:白川地区まちづくり協議会 会長:佐野 重雄 編集:明石 浩



【特集】助かっています、移動販売！

移動販売、いつも誠にありがとうございます。

お世話頂いているのは鈴鹿市の古市商店様です。とても親切に接して頂いています。

現在白川地区、白木地区は郵便局前、押之尾、小川地区では東条、今里、一色、今福、松山の合計7地区を回っていただいており、30名程の方々、年齢は主に65歳から95歳くらいまでの高齢者の方々にご利用いただいております。

少子高齢化がますます加速する中、運転免許証を返納する高齢者が増え続ける中、移動販売のニーズは高まるばかりです。

『高齢者生活支援』の一環として導入、2017(平成29)年12月7日(木)からスタートさせ、早くも丸6年を迎えます。しっかりと定着しました。

ご利用の方々からは、『毎週木曜日を楽しみにしている』とのお声を頂いております。「なぜ?」とお聞きすると『買い物ついでに井戸端会議ができる』。買い物の後、2時間くらいお話しすることもあるとか。

まち協事務局として当初の狙いどおり、移動販売を導入することにより

①販売時間に場所までシルバーカートを押しながら歩いて行く。

②買い物ができる楽しみ。

③支払い時金勘定をする意識。

④買い物に来たお友だち同志でおしゃべりできる楽しみ。

などなど、一挙両得ならず4得も・・・。狙いが叶いました。

地区の皆さん、これからもご利用宜しくお願いします。



<古市商 店店主の古市裕様にお話を伺いました>

生活の食品、用品を手に入れるには様々な手段があります。ネットスーパーや生協様などがあります。移動スーパーの最大の魅力は、頼んだ品物が届くのではなく、自分自身で商品を手に取って選び、楽しくお買い物をしていただけることです。

デジタルではなくアナログが魅力だと思っています。あれが欲しい、これでもないと買い物かごに商品を詰めながら販売スタッフやご近所さんとの会話も楽しみのひとつにして頂いています。

集合場所への移動が困難な方は玄関先までお伺いしてお一人様でもお買物して頂けます。

困っていたお買い物が楽しみに変わり、笑顔が1つでも増えるお手伝いができればと、スタッフ一同よりお待ちいたしております。(↓右下の写真は古市商店様スタッフ一同様)



白川地区北コミュニティセンター 〒519-0169 三重県亀山市白木町 2813-1 TEL.0595-82-7131

本記事の内容、写真はホームページでもご覧になれます⇒URL:<https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/>

発行:白川地区まちづくり協議会 会長:佐野 重雄 編集:明石 浩



2024年(令和6年)1月1日

白川地区まちづくり協議会

しらかわまち協だより1月号

開業以来、今まで6年間の移動販売の様子を写真でお届けします。

移動販売1周年記念セール

2018(平成30)年12月6日(木)

古市商店様有難うございました



皆さんとても喜んでいました。誠に有難うございました。また、企画してください。

白川地区まちづくり協議会 会長 浅野 重信

移動販売の様子を白川小学校児童の社会見学があり、児童たちの学習の場にもなっています。また、移動販売時に児童達が作った炭を販売したこともあります。



白川地区北コミュニティセンター 〒519-0169 三重県亀山市白木町 2813-1 TEL.0595-82-7131
本記事の内容、写真はホームページでもご覧になれます⇒URL;<https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/>
発行;白川地区まちづくり協議会 会長;佐野 重雄 編集;明石 浩



12/1 (金) 白川小学校焼き芋大会

本日、白川小学校で地域の方々と共にサツマイモで「焼き芋大会」を行いました。

140個のサツマイモを児童達が材料のサツマイモを洗い、新聞紙、アルミホイルで包んだものをピザ窯まで運び、予め薪で熱せられたピザ窯に140個すべて投入しました。

このサツマイモは1,2年生児童が地域の方々と共に植え、育て、そして収穫したもので

す。
1) 6/6 (火) 児童と共に『サツマイモ』の苗定植！

2) 10/24 (火) 白川小学校全校サツマイモ掘り！

ご参加いただいた地域の方々ありがとうございました。



今年度、これからの中な行事予定

- | | |
|------------|----------------------|
| 1月 19日 (金) | ・第8回運営委員会 |
| 2月 4日 (日) | ・明星祭 |
| 2月 8日 (木) | ・第5回コミュニティスクール(CS)会議 |
| 2月 11日 (日) | ・市駅伝大会 |
| 2月 17日 (土) | ・第2回出前講座高齢者教室小川 |
| 2月 23日 (金) | ・第9回運営委員会 |
| 2月 26日 (月) | ・第6回福祉委員会・お年寄り訪問 |
| 3月 29日 (金) | ・第10回運営委員会 |
| 10月~2月で都度 | ・炭焼き事業 |
| 毎週土曜日 | ・パソコン教室 |
| 毎週木曜日 | ・移動販売 |



白川地区における子育て支援

白川地区まちづくり協議会で子育て支援のご協力を頂いている福島伸江さんのコメント
「絵本読み聞かせで、聞く力、話す力もついてきます」

私は、学童で月に2回、読み聞かせを行っています。

その読み聞かせで大事にしていることは子どもたちから出てくる言葉です。

本を読む前、読んでから、子どもたちから出てくる言葉が楽しくて、会話が弾むのです。

一人ひとり、面白いと思った場面、不思議だと思っていることを話してくれたり、絵本の挿絵で気に入っている場面を教えてくれたり、また、本の世界を、実際体験しているかのように身体を動かしている子もいます。

絵本の主人公になって、話を始める子、絵本が終わった後、終わった話の先を話し始める子、色々な感性で話し始めてくれます。

子どもが感じたことを話すことで読み手にも気づきがあるのです。

私が思う絵本読み聞かせのメリットは

- ・感情が豊かになる
- ・集中力がつく
- ・想像力を育む
- ・聞く力がつく
- ・自分が感じたことを話す力がつく

特に「自分が感じたことを話す力がつく」は、普段あまり話さない子も他の子が話していると、話す場面もありました。いい雰囲気でした。

私が読み聞かせで楽しんでいる「子どもの話す言葉」をぜひ、ご家庭でも味わって欲しいと思っています。

こちらが最近読んだ絵本です。

- ① 「ぴ~ったり！ソファのまき」作) フィフィ・クオ 訳) おおとも たけし
- ② 「キャベツがたべたいのです」シゲタサヤカ
- ③ 「ふまんがあります」ヨシタケシンスケ
- ④ 「せんそうしない」ぶん) たにかわしゅんたろう 著) えがしら みちこ
- ⑤ 「まほうつかいとねこ」作/絵) せな けいこ



子どもたちから、いろいろな言葉が出てきた絵本です。

忙しい毎日、10分だけ、子どもと絵本を読んで楽しい時間を作りませんか？

子どもがどのような言葉で何に興味を持って話してくれるのでしょうか。



(ご案内) 2/4(日) 開催の『明星祭』

2024

しらかわ 明星祭



いつ

令和6年2月4日(日)9時00分~13時00分

どこ

白川小学校体育館

なに

<催し・バザー>

- ① 手芸、卒業写真等展示
- ② 模擬店(あんまん、肉まん、ポップコーン、お餅、白川そば、野菜など多数)
- ③ 白川小学校卒業写真
- ④ 葛葉太鼓
- ⑤ バンド演奏



白川小学校歴代の卒業写真を大公開します。大正から令和まで、皆さんの懐かしい卒業写真が見られます。



大雪等自然災害の危険がある場合 等は開催を中止することがありますので、ご了承ください。
詳細は当日のまち協ホームページをご確認の上、ご来場ください。





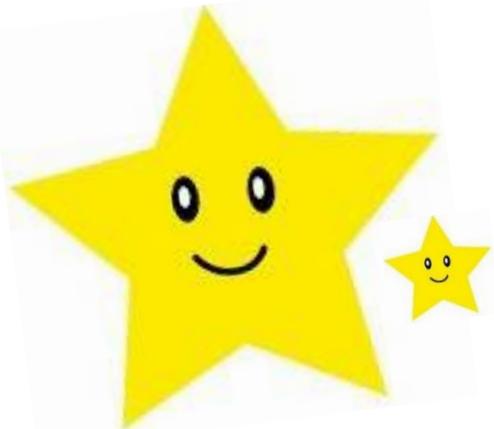
しらかわ 明星祭



何でも



売ってください!!



2024年 2月4日(日)

9:00~13:00



白川小学校体育館

(模擬店、フリーマーケット出店の参加者を募集しています)

今年度は令和元年以来の開催となります。地域の皆様で盛り上げて下さい。

3世代交流の場として楽しく、活き活き開催できます様、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

- ① 3年間コロナ禍で自粛していましたが、例年通り会場で白川お蕎麦、お餅、肉まん、あんまん、お茶やコーヒーなど販売する予定です。
- ② みなさんのご家庭で不要になって、まだまだ使えそうな品物すなわちリユース出来そうなもの。 また、手芸品、農作物、自家製味噌、漬物など。

何でも売ってください！

自由に値段をつけて売ってください。当日参加もOKです。

【問い合わせ先】

ご参加していただける方は、令和6年1月26日(金)までに
白川北コミュニティセンター 山中までご連絡をおねがいします。

連絡先 電話FAXとも 82-7131



(急募) 2/11(日) 開催の『駅伝大会』

困ってます 急募

白川地区駅伝ランナー大募集!!
走るの好きな方
一緒に走りませんか?
少しでも走れる方、助けて下さい!!

★☆亀山市駅伝大会 第70回記念大会です☆★

駅伝大会開催日：2024年2月11日(日)

対象：中学生以上～（男女問いません）

42年以上参加し走り続けて来た、この伝統を絶やすわけにはいけません。45歳以上のおっさん達には、もう一限界にきてます(泣き)白川在住の人、Z世代、白川に来てくれた人また、白川育ちの他県、他市に出て行っている若者達集まれ!!3km～5km走れる人、走れる気力/意気込み/やる気/妄想だけでも取り合えず問題無し、一緒に練習から始めましょう

●2024年1月上旬から夜に練習を開始します。

問い合わせ先：090-2681-7753 廣森 孝司 (監督)

～・～まずは、皆さん行動してみましょう～・～

